

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時
結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別 末梢血液一般・網赤血球		材料	血液	
検査結果用紙の見方				
検査項目	結果	単位	基準値	結果値コメント
末梢血液一般検査	.		***	
WBC	L 1.73	10 ⁹ /L	3.30 - 8.00 × 10 ⁹ /L	
RBC	L 2.97	10 ¹² /L	4.35 - 5.55 × 10 ¹² /L	
Hb	L 8.9	g/dL	13.7 - 16.8 g/dL	
Ht	L 26.0	%	40.7 - 50.1 %	
MCV	87.5	fL	83.6 - 98.2 fL	
MCH	30.0	pg	27.5 - 33.2 pg	
MCHC	34.2	%(g/dL)	31.7 - 35.3 g/dL	
PLT	!L 17	10 ⁹ /L	158 - 348 × 10 ⁹ /L	
NRBC	H		0.0 /100WBC	
NRBC#			*** 10 ⁹ /L	
RDW-SD			*** fL	
RDW-CV			*** %	
PDW			*** fL	
MPV			*** fL	
P-LCR			*** %	

基準範囲から外れている場合にマークが付きます
H：基準範囲 上限超え
L：基準範囲 下限超え
!H / !L：緊急異常値

各検査項目の基準範囲を示します

検査種別 生化学検査		材料	血液	
検査結果用紙の見方				
検査項目	結果	単位	基準値	結果値コメント
乳び(生化学)	0			
溶血(生化学)	0			
黄疸(生化学)	0			
AST	H >1600	(仮) U/L		
ALT	H >1600	(仮) U/L		
LD(IFCC)	H 233	U/L		
ALP(IFCC)	H			
γ-GT	!H			
TP				
ALB				
A/G				
T-Bil	H			
D-Bil				
CRE	H			
eGFR	L			
UA	H			
UN				

検査結果が変更となる可能性がある仮報告であることを示しています

基準範囲は、健常人の大多数が含まれる検査値の範囲を示すもので健常人であっても基準範囲外の結果となることがあります。また、それとは逆に病気をもつ人であっても基準範囲内の結果となることもあります
検査値は自身で解釈せずに、必ず主治医の判断に従ってください

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時
結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別	尿定性	材料	随時尿
受付日			
受付番号	00031		
検査項目	検査の概要	単位	基準値
尿定性			***
色調	尿の色によって、尿に含まれる成分を類推します。		淡黄色～黄褐色
濁度	尿の濁り具合によって、尿に含まれる成分を類推します。		***
比重	尿が希釈されているか、濃縮されているかを類推する項目です。		1.002 - 1.045
pH	体の酸塩基平衡状態（血液が酸性に傾いているかアルカリ性に傾いているか）の異常を類推する項目です。		4.5 - 8.5
蛋白	腎臓の障害などで尿に必要なタンパクが出ているのを検出するもので、腎症の初期診断などに用いられます。		(-)
糖	血液中の糖が尿中に排せつされたもので、糖尿病の初期診断に用いられます。		(-)
潜血	尿に血が混じっている状態を検出するもので、腎臓や尿路の出血を伴う疾患の検出に用いられます。		(-)
ウロビリノーゲン	ビリルビンが腸内細菌によって分解されて生成されるもので、肝機能の初期診断に用いられます。		(Normal)
ビリルビン	血液中のヘモグロビンが分解されてできる物質で、肝機能の初期診断に用いられます。		(-)
ケトン体	栄養を十分に摂取できていない時に尿中に排せつされるもので、糖代謝異常の初期診断に用いられます。		(-)
白血球	白血球に含まれている酵素を検出するもので、尿路感染症などの初期診断に用いられます。		(-)
亜硝酸塩	硝酸塩が細菌によって還元されてできる亜硝酸塩を検出するもので、細菌の有無を調べて尿路感染などの初期診断に用いられます。	mg/dL	***
クレアチニン	腎臓によってろ過されて、そのままあまり再吸収されずに尿中に排せつされるため、尿の希釈や濃縮の影響を取り除くための指標として用いられる項目です。	mg/dL	*** mg/dL
PC比	尿タンパクの値を尿クレアチニンの値を用いて補正したもので、腎疾患の初期診断に用いられます。	g/gCr	0.15 g/gCr 未満
AC比	尿アルブミン値を尿クレアチニンの値を用いて補正したもので、腎疾患の初期診断に用いられます。	mg/gCr	30 mg/gCr 未満

検査種別	尿沈渣	材料	随時尿
受付日			
受付番号	00031		
検査項目	検査の概要	単位	基準値
尿沈渣	尿中の血球、上皮、円柱や細菌を検出して、腎・泌尿器系疾患を診断するための基本的な検査です。		

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時
結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別 尿生化学検査		材料 随時尿	
受付日		受付番号 00031	
検査項目	検査の概要	単位	基準値
尿 尿酸	「プリン体」と呼ばれる物質が分解されたもので、腎機能低下によって尿酸の尿中への排せつが低下したり、悪性腫瘍の細胞崩壊によって大量の尿酸が産生されたりを反映する指標です。	mg/dL	*** mg/dL
尿 クレアチニン	筋肉の発育と運動に関連して産生され、腎臓によってろ過されそのまま再吸収されずに尿中に排せつされる物質で、尿の希釈や濃縮の影響を取り除くための指標として用いられる項目です。	mg/dL	*** mg/dL
尿 尿素窒素	アミノ酸の分解産物であるアンモニアが代謝されてできる物質で、尿への排せつ量によって腎機能を推測する検査です。	mg/dL	*** mg/dL
尿 糖定量	血中のブドウ糖が、本来は腎臓でろ過されてから再び血中に吸収されるべきところ、その最大の再吸収できる度合いを超えて血糖値が上昇した場合に尿中に出現するブドウ糖を測定するもので、糖尿病の指標となる検査です。	mg/dL	2 - 20 mg/dL
尿 蛋白定量	健常人ではわずかにしか尿中に排せつされないタンパクの量を検査することによって、腎機能障害の指標とする検査であり、慢性腎臓病の重症度判定にも用いられます。	mg/dL	*** mg/dL
尿 PC比	タンパク/クレアチニン 比	g/gCr	0.15 g/gCr 未満
	尿の希釈や濃縮の影響によって、尿タンパクの値が変動するため、クレアチニン値で割ることによってその影響をなくすよう補正した計算値です。		
尿 アルブミン	尿タンパクが陰性の時期に、尿中に排せつされるアルブミンを測定して初期の腎障害を診断することに有用で、慢性腎臓病の重症度判定にも用いられます。	mg/L	*** mg/L
尿 AC比	アルブミン / クレアチニン 比	mg/gCr	30.0 mg/gCr 未満
	尿の希釈や濃縮の影響によって、尿アルブミンの値が変動するため、クレアチニン値で割ることによってその影響をなくすよう補正した計算値です。		
尿 NAG	N-アセチル β -D-グルコサミニダーゼ 腎臓の尿細管という部分に存在する酵素で、腎障害の指標となる検査です。	U/L	男性 : 0.9 - 6.2 U/L 女性 : 0.7 - 4.9 U/L
尿 アミラーゼ	すい臓や唾液腺に含まれる消化酵素で、すい炎などによる血中アミラーゼ増加を反映します。	U/L	50 - 500 U/L
尿 Ca	カルシウム	mg/dL	*** mg/dL
	血液中のカルシウム濃度を調節する副甲状腺ホルモンなどの作用の異常や、骨や腎臓の異常を反映します。		
尿 無機リン	無機リンの増減に関わる副甲状腺ホルモン作用の異常や、骨や腎臓の異常を反映する検査です。	mg/dL	*** mg/dL
尿 マグネシウム	血液中のマグネシウムが尿中へ排せつされるのを測定し、腎症や甲状腺機能の指標となる検査です。	mg/dL	*** mg/dL
尿 Na	ナトリウム	mmol/L	*** mmol/L
	電解質バランスを確認する検査で、腎臓でのナトリウムの再吸収を反映し、細胞外液量の推測に有用です。		
尿 K	カリウム	mmol/L	*** mmol/L
	電解質バランスを確認する検査で、腎臓でのカリウム排せつ状態の推測に有用です。		
尿 Cl	クロール	mmol/L	*** mmol/L
	電解質バランスを確認する検査で、腎臓でナトリウムとともに再吸収されるもので、細胞外液量の推測に有用です。		
尿 浸透圧	尿を濃縮したり希釈したりする腎臓の機能を反映する指標です。	mOsm/kg・H2O	50 - 1300 mOsm/kg・H2O

検査種別 便一般検査		材料 便	
受付日		受付番号 00210	
検査項目	検査の概要	単位	基準値
ヘモグロビン[便] 便Hb 数値 便Hb 判定	消化管の潰瘍、腫瘍、炎症、出血などを確認するための検査です。	ng/mL	100 ng/mL 未満 陰性